

汪氏來日の意義重大

これこそは眞實であるか、
 けれども、神の五七聖蹟の精
 神が愈々神蹟や妙のものであ
 ることを予知に再認識せし
 めたものとして聖典される。
 師匠より聖典なる事が發生
 した直後にも拘らず、事變爲
 理に關する帝國憲法の態度が
神蹟ににするものでないといふ
 う事を明示した話も看過し得
 ないものがあらう。

臺灣にも志願兵制實施

二十日の閣議で本極り

商工省 **設立準備急ぐ**

八月廿三日拜謁、重要産業
調査會を公府を目撃し、密へ、
上野では石炭統制會の設立準備
を、その要項をたの如
く整理を考へてゐるが、
未だ最後
てゐない
に定事事項、國會議
員に片附けるべく當局
の公府を尋ねてゐる

産額十五萬噸、以下中
鐵をして、ブロッケ別
區鐵制會を組織せしめ
統制會に監督人を入れ
、區鐵制會は滿山監督
、朝鮮に（獨逸）に組織す
、或は北海道石炭獨賣會
つたカテル中心に統
しめるかに問題がある

敵の戦意全く喪失

加兵を要する。全島を占領し、敵軍を
に驅逐し入せしめる

二、中小の敵業者を自衛隊體
たる北郷道明時子、宇石良
義、栗澤、西野政樹等と
そのほか殺殺し、一定の戦費
（重要箇所戦法の指定
費、四省に貢ぐ）、敵空軍基地

（〇〇基地二十四日）盟二
十日、支那駐報部部長、
敵駐空軍部隊は二十三日再び
諸島を襲撃、廢墟したり

を求む。戦費を喪失せる敵空軍
を、我日空軍工隊隊員に
を、我日空軍工隊隊員に
諸島を襲撃、廢墟したり

事となつてゐる

午前十時三十分

定例院は廿四日午前十時三十分から首相府議院にて那羅農園園主大臣、鈴木副院議長から演説あり

獨逸の我國境界に及ぼす影響について

赤木氏の葬儀

反戰氣運濃厚

人口局を新設

公ぼす影響に

[illegible]

的確な効果
素晴しい
キハメ
下治療機

急告！

パウリスタ延長線

ゾーナ・ダ・マツタ

ルセリヤ市街地ダツタを御買求めの方にて月賦未納の方は早速事務所又は小生方にて御整理下さる様御通知申上ます

事務所 ルセリヤ市街地

賣出人 ジヨゼ・マノエル・メスキッタ

代理人 藤原高 一

パウリスタ延長線

ソーナ・ダ・マツタ
ルセリヤ市街地ダツタを御買求めの方にて月賦
未納の方は早速事務所又は小生方にて御整理下
さる様御通知申上ます
事務所 ルセリヤ市街地
賣出人 ジヨゼ・マノエル・メスキツタ
代理人 藤原高 一

“A——”即ち、此の標本に連続する

“Arrow”印カミ一ザは趣味に洗練された紳士方より多大の好評を戴いて居ます！其コラリンニヨは最新流行の粋と研究作られ端正美に至大の奥床しが見られます。

北米より各種豊富に入荷、現代人好みの極上切地に純白の簡素美あり、上品な縞模樣淡白色より又愛嬌な色柄が御座るゝ

御 値 段
68\$ 75\$ 85\$ 110\$ 120\$
 イグアスへの御遊覧?
 御問合せは エスプリンテルへ
Casa Anglo-Brasileira
 Sucessora de MAPPIN STORES

像て皆様が御待望のバウ

リスタ延長線ルセリヤ市街地の接續地は愈々賣出し開始致しました、最早數百アルケーレスの契約済みと言ふ好景氣です

一時も早く永住の地を求

められよ

一、場所 バ線延長線ルセ
リヤ市街地接續地

一、地主 マツキスビルチ

一、地價 壹コントより貳
コントスまで

パウリスタ延長線

ルセリヤ市街地
賣出人 藤原高一
郵函 三〇貳

ビクターレコード

六月臨時發賣!!

内閣總理大臣 公爵 近衛 文

講演
青年に告ぐ
前拓務大臣 永井柳

なきあと

金三コントス也
 カージ東
 四月現在
 四十五コントス五百五拾軒中
 驛内寄附金總額
 プロミツソン
 建設寄附者芳名
 プロミツソン上塚會館

百田君松
山丑治
十五軒 名越寫真
一金十軒

之助	清大	道下鶴	龜千代	鈴木辨	因次次	利荒	荒垣	山比	山口	佐藤數	榮三
軒	日本松三治	後松松尾	千賀	松田和直	星野正	出徳次郎	宛 喜平 益田	宛 松田和直	西田松男	淺野廣一	重信
軒	油上瀧平	西田益治	奥	高	高	高	高	高	高	高	高

伊藤高十 坂本安

西村敬潮	石磨	謝勘元	飯田敬
御三太	高橋龍昇	一大	
愛澤源	島田一	加村包	
板發治	大田兵衛	佐藤	
宮林善次郎	田中	思次郎	
高橋福藏	横		
收入	二、四三〇圓		
支出	一、九百四〇圓		

(差引殘金は協會維持費)

アパレー角力大會

芳名各立毀

用心づく

トキキ

踊る電話

☆

袖珍ラジオ版

(タンゴ)
サラバアルゼンチ
ジュシーのサ

天國に絆之戀

花は咲くの
に
巴里よりラング
御禮廣告

金百軒宛 後藤松尾 千賀 勇 梅田敬一 達
道下彌司 坂本

金五十杆宛	松田和直	高
御文一	富山直苗	星野正
太肥	永田傳次郎	
金三十杆宛	喜多診	益田
乙吉	西田松男	澤田有次
郎、北川雷哲	淺野廣一	
有馬殿		
金二十五杆	池上源平	
二十杆宛	西出益治	奥
金十杆宛	小田豊隆	榮三
佐藤數馬	脇田出	
荒里清須	與興	佐
山口久先生	而	
國比久	朝吉	
伊勢	荒川	佐
因助次	押川盛	
龍木辨藏	竹中	
龜千代	栗本	

堀部瀧次郎 伊藤高十
坂本安太郎 辻

日野芳子 田中
 千代松 宮林善次郎 田中
 誠治 上坂愛子 太田都
 大橋仲治 愛澤深 山田都
 上村勝三 高橋昇
 加藤清正 西村敬順 石原
 彦四郎
 金十五軒別 高橋福藏 渡
 收入 二・四四三〇鈎
 支出 一・九百四〇鈎
 (雲門親族は協會維持費として發す)
 寄附芳名各立役
 第三回アペール角力大會

ARMAZEM KAIKO LTDA.
SEÇÃO DE ADUBOS
Caixa Postal, 1602 São Paulo

肥料
骨粉 海興
マタドール
米糠 等各種
肥料大量揃へて居ります
此の際多少に拘ず御用命の程
願ひ上げます